



卓球女子団体



史上初メダル



卓球女子団体が獲得した銀メダルを手に喜ぶ(左から)福原、平野、石川エクスセル

ロンドン五輪
London 2012

ロンドン五輪第12日の7日、卓球は女子団体決勝を行い、五輪卓球で男女を通じて初のメダルが確定していた福原愛(A NA)石川佳純(全農)平野早矢香(ミキハウス)の日本は0-3で中国に敗れ、銀メダルだった。中国は2連覇。日本は第1試合のシングルスで福原が1-3でシングルス今大会金メダルの李曉霞に敗れ、第2試合は石川が0-3で世界ランキング1位の丁寧に、第3試合のダブルスは平野、石川組が郭躍、李曉霞組に1-3で負けた。

すべて出し切った

卓球女子団体が銀メダルを手にした福原、石川、平野の3人は達成感を口にした。

—今の思いは。

福原「1分1秒でも長くプレーしたいと思ってた。すべてを出し切って手にした銀です」

石川「悔しい気持ちとうれしい気持ち半分ずつ。3人で力を合わせて最高のプレーができた」

平野「夢舞台に立てて興奮した。思い続けたメダルを形にできた」

—中国の印象は。

福原「シングルスでチャンピオンと対戦できたのは大きい。小さいころから中国でお世話になってここまで来られた」

石川「すごく強い。技術的にもまだ差はある」

平野「やっぱり強かった。でも日本チームもレベルが上がって、いいプレーができた」

—今後は。

福原「ロンドンが目標ですべてを出し切ったので、まだ考えていない」

石川「フィジカルの面もまだ足りない部分がある。4年間かけて中国との差を縮めて、リオデジャネイロで挑戦したい」

平野「まだまだできる気持ちで湧いている。もっと上を目指したい」

3位決定戦はシンガポールが3-0で韓国を下し銅メダルを獲得した。